

硬筆指定課題 評価の観点

《中学楷書》 大平恵理 書

始めに、姿勢と筆記具の持ち方を確かめます。
正しく整えて読みやすく書くことが大切です。「止め・はね・はらい、線
の長さや方向、あき、折れ、折り返し、曲がり、そり、線と線の接し方と
交わり方、一字一字の組み立て方、筆順、筆圧」に気をつけて書きましょう。

手本の文字を見ながら、右のマスに書いてみましょう。

夏		春	
夜		あ	
頃		際	
闇		紫	
螢		雲	
飛		細	

一字一字の外形、文字の大きさや幅、行の中心、配置などを考えて、真っ直ぐ書くようにしましょう。半分の高さで見当をつけ、バランスよく収めるようにします。

説明の記号

- 外形 (Red dashed box)
- 注意するところ (Red dashed circle)
- 同じ広さのあき (Red solid circle)
- 広いあき (Red solid circle)
- 狭いあき (Red solid circle)
- 曲がり (Red dotted line)
- 方向 (Red arrow)
- 長さ (Red arrow)

①

りて、紫だちたる雲の細く

②

りて、紫だちたる雲の細く

※わくの両はじの「・」は1/2の高さを示しています。

中

氏名は上と下のあきをそろえて、かだいの文字より少し小さめに書きます。